【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年10月17日(2024.10.17)

【国際公開番号】WO2022/074240
【公表番号】特表2023-545973(P2023-545973A)
【公表日】令和5年11月1日(2023.11.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-206
【出願番号】特願2023-520144(P2023-520144)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｄ　1/20(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/20(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/46(2020.01)
Ａ２４Ｄ　3/17(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｄ　1/20
Ａ２４Ｆ 40/20
Ａ２４Ｆ 40/46
Ａ２４Ｄ　3/17

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月7日(2024.10.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアロゾル発生物品であって、
エアロゾル発生基体と、
前記エアロゾル発生基体の下流端から前記エアロゾル発生物品の下流端まで延びる下流セクションと、を備え、
前記エアロゾル発生基体が０．５グラム／立方センチメートル以下の密度を有し、
前記エアロゾル発生基体の長さの、前記エアロゾル発生物品の長さに対する比率が０．４以下であり、
前記エアロゾル発生物品が、前記エアロゾル発生基体の上流に上流セクションを更に備え、前記上流セクションが約１０水柱ミリメートル～約７０水柱ミリメートルのＲＴＤを有する、エアロゾル発生物品。
【請求項２】
前記エアロゾル発生基体の長さの、前記エアロゾル発生物品の長さに対する比率が少なくとも０．１である、請求項１に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項３】
前記エアロゾル発生基体が少なくとも５ミリメートルの長さを有する、請求項１又は２に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項４】
前記エアロゾル発生基体が８０ミリメートル以下の長さを有する、請求項１から３のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項５】
前記エアロゾル発生物品が少なくとも３５ミリメートルの長さを有する、請求項１から

４のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項６】
前記エアロゾル発生物品が１００ミリメートル以下の長さを有する、請求項１から５のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項７】
前記エアロゾル発生基体が少なくとも０．２４グラム／立方センチメートルの密度を有する、請求項１から６のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項８】
前記エアロゾル発生基体がタバコカットフィラーを含む、請求項１から７のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項９】
前記エアロゾル発生基体がエアロゾル形成体を含み、前記エアロゾル発生基体が少なくとも約１０重量パーセントのエアロゾル形成体含有量を有する、請求項１から８のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１０】
前記エアロゾル発生物品が、前記下流セクションに沿った位置に第一の通気ゾーンを備える、請求項１から９のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１１】
前記下流セクションが約３０水柱ミリメートル未満のＲＴＤを有する、請求項１から１０のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１２】
前記下流セクションが、前記エアロゾル発生基体の前記下流端から前記下流セクションの前記下流端までの妨げられていない気流経路を備える、請求項１から１１のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品。
【請求項１３】
エアロゾル発生システムであって、
請求項１から１２のいずれか一項に記載のエアロゾル発生物品と、
遠位端及び口側端を有するエアロゾル発生装置と、を備え、前記エアロゾル発生装置が、
前記遠位端から前記口側端まで延びる本体であって、前記装置の前記口側端で前記エアロゾル発生物品を取り外し可能に受容するための装置空洞を画定する、本体と、
前記エアロゾル発生物品が前記装置空洞内に受容されたときに前記エアロゾル発生基体を加熱するためのヒーターと、を備える、エアロゾル発生システム。
【請求項１４】
前記エアロゾル発生装置の前記ヒーターが、前記エアロゾル発生物品が前記装置空洞内に受容されたときに前記エアロゾル発生物品を囲むように構成されている、請求項１３に記載のエアロゾル発生システム。
【請求項１５】
前記ヒーターが４０ミリメートル以下の長さを有する、請求項１３又は１４に記載のエアロゾル発生システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
従来の紙巻タバコは、ユーザーが紙巻タバコの一方の端に炎を当て、もう一方の端を通して空気を引き出すときに点火される。炎及び紙巻タバコを通して引き出された空気中の酸素によって提供された局所熱は、紙巻タバコの端を点火させ、結果として生じる燃焼により吸入可能な煙が発生する。その一方で、加熱式エアロゾル発生物品では、エアロゾル

は、タバコなどの風味発生基体を加熱することによって発生する。周知の加熱式エアロゾル発生物品としては、例えば、電気加熱式のエアロゾル発生物品、及びエアロゾルが可燃性燃料要素又は熱源から物理的に別個のエアロゾル形成材料への熱伝達によって発生するエアロゾル発生物品が挙げられる。例えば、本発明によるエアロゾル発生物品は、エアロゾル発生基体のロッドの中に挿入されるように適合された内部ヒーターブレードを有する電気加熱式のエアロゾル発生装置を備えるエアロゾル発生システムにおいて特定の用途がある。このタイプのエアロゾル発生物品は、先行技術、例えばＥＰ０８２２７６０に記載されている。